

議会だより



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。

～“まち”の動きがよく分かる！～



自分たちで作ったお米は、美味しかばい！（あさぎり翔成館）

通年議会
第3回～第5回会議

決算審議内容	2～7
第3回～第5回審議内容	8～9
一般質問	10～20
議員活動報告	23

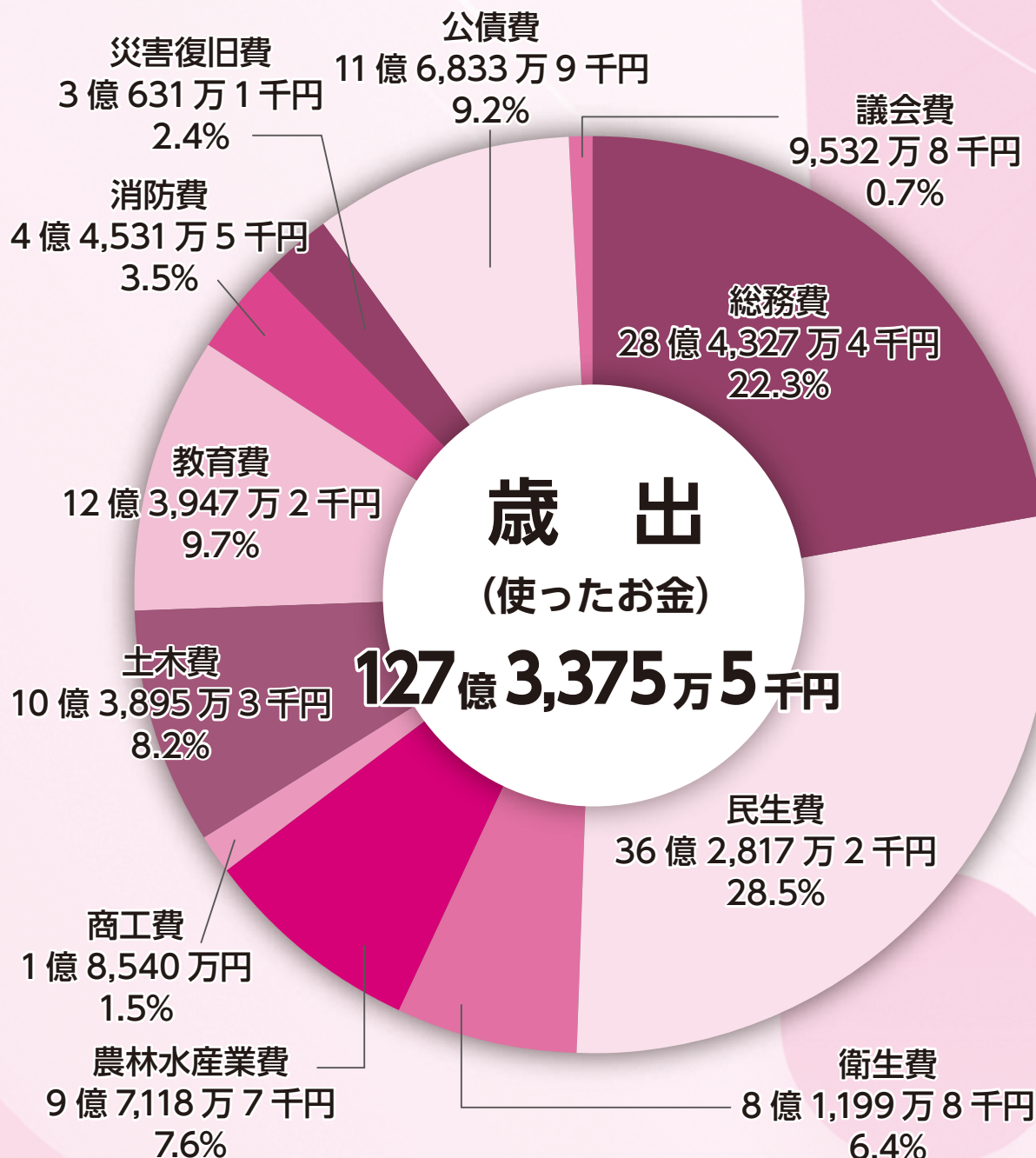
3,375万5千円

一般会計歳出



第5回 会議

9月定例会は9月6日から9月20日まで15日間の日程で開かれた。
一般質問には11名の議員が登壇し活発な議論が行われた。町長から
議案12件、認定7件が上程され、審議採決の結果、全ての議案が全会
一致で可決・認定された。

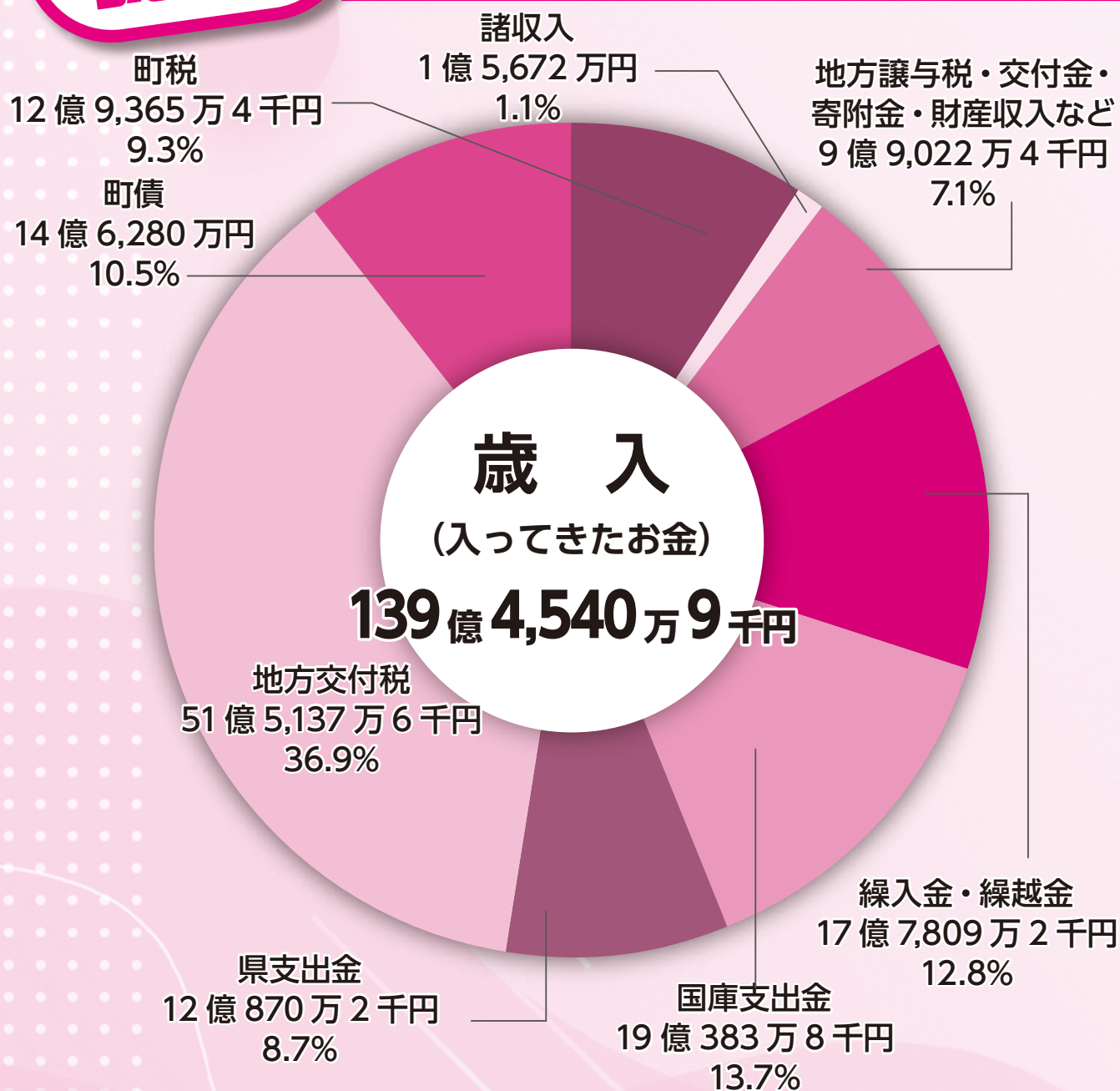


※千円未満は切り捨てのため、総額とは必ずしも一致しません。

全会一致で
認定

令和5年度

決算 127億



特別会計		歳入	歳出
国民健康保険		21億1,463万9千円	21億103万2千円
後期高齢者医療保険		2億7,659万7千円	2億4,676万3千円
介護保険		21億2,167万円	19億4,668万円
球磨郡介護認定審査事業		1億1,534万5千円	1億55万円
球磨郡障害認定審査事業		979万3千円	580万3千円
水道事業	収益的収支	4億6,643万3千円	4億269万9千円
	資本的収支	3億9,546万3千円	5億1,265万円
下水道事業	収益的収支	6億6,753万2千円	5億9,372万1千円
	資本的収支	1億9,848万6千円	4億6,133万9千円

〈一般会計〉

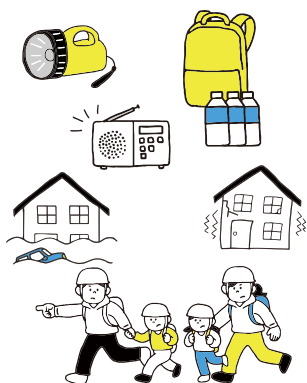
総務課

問 防災アドバイザー派遣で、講師謝金が不用であった。PRの方法は。

答 依頼がなかった。PR不足は否めない。今後各地区に向けてお知らせしていく。

問 県内の南海トラフ地震防災対策推進地域指定自治体は。今後、町はどのような対応をしていくのか。

答 熊本県では、宇城市、阿蘇市、高森町、山都町、多良木町、湯前町、水上村、あさぎり町、天草市、苓北町の10市町村。対応としては、指定避難所にマンホールトイレ、給水、防災倉庫、空調等の設備を年次的に整備していく。



企画政策課

問 テレワーク施設の使用状況は。

答 2月のコワーキングスペースが8人、会議室が37人。3月のコワーキングスペースが15人、会議室が50人である。合計が2か月間で110名の利用があった。



問 光ブロードバンド整備事業における難視聴対策の連携の検討状況は。

答 あさぎり町でのブロードバンドサービスの提供内容が固まる段階で事業の受託者である西日本電信電話株式会社熊本支店からの提案内容について対応方針を検討する。

財政課

問 シルバー人材センターの活動実績は。

答 財政課分は公衆トイレの清掃28か所と町有地の除草作業。

問 一般会計で実質的な大幅な繰越金を残した結果に対してどう判断するか。

答 結果的に決算ベースで残ったと分析している。財政課をはじめ担当課と協議の上、適正な行政サービスが行えるよう、予算化については考慮していく。

税務課

問 固定資産税の不納欠損は何件でその発生原因は。原因の不透明さを感じ、町民に不利益を与えるのではないかと思われるが。

答 109件で1,651万5,372円。原因は財産の有無と生活困窮所在不明などである。地方税法に基づいて時効を迎える前に執行停止をかけている。

町民課



あさぎり町墓地公園「花牟礼霊園」

問 墓地公園の管理負担金（収入）に対して管理委託料（支出）が大きい。残地も多く今後の管理体制などを見直す時期ではないか。

答 現在利用できる180区画のうち84区画が利用され、96区画が空いている。さらに現在利用されていない区画が153区画あり、JAとの管理料の統一や樹木葬などの取り組みも今後検討する。

生活福祉課

問 障害児通所支援費のサービス内容と学校教育や子ども家庭センター等との連携はどうなっているか。

答 昨年度末で95名が利用されており巡回支援等で各園を回ったり、保護者からの相談を受けたりして利用していただいている。子ども家庭センターの支援員や教育課などとの情報交換により連携している。

高齢福祉課

問 白寿荘の利用料収入が96,880円となっているが、これまでの推移は。

答 平成19年度以降、同24年度が最多で196,500円、令和3年度は67,620円、同4年度は107,490円となっている。



高齢者コミュニティセンター「白寿荘」

健康推進課

問 病院事業負担金について、構成町村の所管課と財政課との協議をする場の必要性和、病院経営に対する町の主体的な取り組みの考えは。

答 病院議会でも負担金に対する一般質問があり、構成町村としても客観的に見ていた部分もあるので、担当部局と財政も含め主体性をもって病院事業に取り組む必要がある。

問 コロナワクチンの接種事業について、今後どう考えていくのか。

答 基本的に医療機関に一任しているが、議会と協議する場を設ける。

農林振興課

問 農業支援センターのトラクター他活動状況は。

答 トラクターとアーム型草払機は年間89件、563時間。バックフォア型草払機は年間6件で76時間、ラジコン型草払機は年間29件で255時間である。

商工観光課

問 AEDは何年に1回更新なのか。また、夜間の使用については。

答 耐用年数は4年で、ポッポー館設置分については、朝



8時30分から夜10時まで活用が可能。また、職員も使えるようにしておくことが大事だと思っている。

問 商工振興補助金の利用目的の要件を拡大出来ないか。

答 現在、商工会と検討を行っているところである。

問 推奨商品の認定制度の中で、特産品開発について今後どのように進めようとしているのか。

答 地域おこし協力隊も増やし、かなりのノウハウを取得しながら商品開発を行っている。



問 ビハ公園キャンプ場の在り方について、現時点でどのような考えか。

答 現在は休園中であるが、公園としては解放している。再度、キャンプ場として活用できるか調査を委託している。結果を踏まえたところで考えていきたい。



建設課

問 町道で、雑草が全然刈り取っていない箇所がある。今後どのように管理していくのか。

答 戸数が少ない集落道については整備ができていない所がある。委託も検討して適正な管理に努める。

問 道路や公園の樹木の管理は。

答 作業員で日常的に維持管理を行っている。木の状態を把握しながら適正に管理していく。



問 町道に面する所の防草シートは多面的事業では出来ないのか。

答 住民協働事業の中で、取り組んで頂く事になっている。

教育課

問 水俣に学ぶ肥後っ子教室が始まった時期と研修の時期や内容、成果は。

答 5月、6月、10月に町内5小学校で実施している。10年以上前に差別発言等が毎年のようにあり、きちんとした理解をしようということから始まった事業である。資料館の見学や語り部の方の話を聞いたり、環境センターでの学びをしたりしている。

問 免田放課後学童クラブが活動しているプレハブの建物は町の学校施設なのか。半分は授業でも使っているが耐震は。早期の改修をすべきではないのか。



答 学校施設として財産に関する調査の中に計上されているが、延べ床面積200㎡以上という耐震診断基準以下の面積であるため、診断はしていない。今後、大規模改修と合わせ検討をしていきたい。

〈国民健康保険特別会計〉

健康推進課

問 令和12年度からの県内保険税の統一に向け、一般会計からの財政支援を計画的に行っていくことについて、他の医療保険や介護保険、後期高齢者医療との整合性がとれるのか。

答 令和12年度に向けて段階的に税率を引き上げる必要があると考える。それ以降は一般会計からの法定外繰入ができなくなることから、基金の積み増しをしておく必要がある。

〈介護保険特別会計〉

高齢福祉課

問 繰越金全体の額と補正予算の額が非常に大きいことの要因は。

答 当初予算編成時に給付見込み額を多めに組んでいること、国県等への返還金を翌年度に行うために繰越金の額が多くなっている。

〈企業会計〉

上下水道課

問 皆越地区の水道施設の管理は。

答 今後、見直しが必要になってくる。維持管理の方法について検討する。



第 5 回会議内容



第 3 回会議（7 月 18 日開催）

全議案
全会一致で
可決

1. あさぎり中学校屋内運動場棟長寿命化改修工事請負契約の締結について

契約の相手方 丸昭・勇 特定建設工事共同企業体

代表者 丸昭建設株式会社

契約金額 2億8,930万円



あさぎり中学校屋内運動場棟長寿命化改修

2. 専決処分

深田小学校南側フェンスに設置していた横断幕が突風により飛ばされ、県道人吉水上線を人吉方面から多良木方面へ走行していた相手方の車両左前方へ衝突し車体を傷つけ、損害を与えたもの。

損害賠償額 40万6,646円（町100% 相手方0%）

損害賠償金は、町が加入する全国町村会総合賠償補償保険金より全額保証される。

第 4 回会議（8 月 1 日開催）

全議案
全会一致で
可決

1. 町道立野線災害復旧工事その1（令和4発生災）請負変更契約の締結について

契約金額

（変更前）9,438万円

（変更後）7,773万5,128円

今回変更による減額 1,664万4,872円

契約の相手方 有限会社 富山産業



町道立野線被害状況

2. 一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ545万4千円を追加し、総額125億826万4千円とする。

主なもの

- ・町税還付金 300万円
- ・林業振興機械等整備事業補助金 200万円
- ・部活動各種大会出場補助金 45万4千円



第3回

第5回会議（9月6日開催）可決

1. 一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ5億811万円を追加し
総額 130 億 1,637 万 4 千円とする。

主なもの

- ・財政調整基金積立金 2 億 6,774 万 1 千円
- ・くま川鉄道経営安定化補助金 1, 840 万 8 千円
- ・テレワーク施設運営費 3,270 万円
- ・一の木谷工事 4,000 万円
- ・公民分館等施設整備補助金 3,317 万円
- ・学校給食費 減額 2, 365 万 5 千円

学校給食費は、子育て世帯支援の取り組みとして令和5年度から半額助成を実施してきたが、支援拡充のため給食費を本年4月に遡って無償化する予算を9月議会に上程し議決がなされたことで、完全無償化とする。



あさぎり町学校給食

2. 水道事業会計補正予算（第1号）

資本的収入 1 億 3,905 万 6 千円を追加し、10 億 6,126 万 2 千円とする。

主なもの

- ・岡原配水ポンプ場整備工事
企業債（上水道整備事業）の限度額を 8,430 万円補正し、7 億 8 千万円とする。

審査報告

■議会運営委員会■

「あさぎり町ハラスメントの疑いに関する第三者委員会」の報告に関する要望

前町長から提出されていた「あさぎり町ハラスメントの疑いに関する第三者委員会」の報告に関する要望については不採択とする。

理由・・・要望の大半は、公表に関することと判断したうえで、その内容から当事者と思われる2人の承諾なしには安易に取り扱うことは困難と判断した。なお当事者と思われる2人には、4月22日に報告書を渡してあり、このことは実質公表ではないかとの考えもあることも申し添える。

【反対】 当時の町長が提案された、「会議の経緯は公表しない。答申は町長並びに議長だけ」とする内容の条例を可決した議会として、今回の要望に対して公表の採択をするのは自己矛盾であり採択には反対とする。

【賛成】 前町長の提案で第三者調査委員会が立ち上げられ、議会で可決された。公表を前提に賛成したが、調査の意義に疑問も感じた。しかし、予算が認められた以上、公表は必要であり、賛成とする。

令和5年度要望第16号

不採択

第5回会議 表決一覧表（抜粋） 【議案】議会運営委員会の報告について ※議長は議決に加わらない

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
氏名	小松	加藤	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	森岡	豊永	山口	皆越	溝口	永井
可否				○			○						

■総務建設経済常任委員会■

「石田橋の架け替え工事着手に関する陳情書」

常任委員会で調査・審査を行い、「趣旨採択」と報告。全会一致で「採択」となる。

令和6年度陳情第1号

採択

学校部活動の地域移行は



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

こたに
小谷

せつお
節雄 議員



問

中学校部活動の
週末地域移行につ
いての予定は。

教育課長

令和5年度部活動地域
移行検討協議会の総括と
して、休日のみでなく平
日を含めた移行を検討し
ていくといった意見をま
とめていただいている。

問

地域移行の受皿
づくりには、組織・
人材・資金等の管理運営
能力とあわせて、ハラス
メント対応などの責任能
力まで必要と思うが。

教育課長

先進事例等も参考に協
議を進め、移行に携わっ
ていただく方々に講習会
等も実施をしていきた
い。

問

体制整備がなさ
れても、保護者に
は経済的負担や送迎等の
負担が発生し、それに対
応できない世帯が潜在的
にあると考える。ただ組
織作りをしてそこにお任
せすればいいという問題
ではないのではないか。

教育課長

移行案が具体化する中
で、保護者の負担軽減や
家庭格差などについても
しっかりと検討をしてい
きたい。

問

学校部活動での
スポーツ文化に触
れる機会とその権利は保
障されるべきであり、教
育現場の働き方改革を理
由に、子供たちにとって
の不利益が拡大するよう
な方向に行ってはならな
いと考えるが。

教育長

人材の確保、経済的な
もの、家庭格差、管理体
制をどうするかなどが課
題と捉えている。

将来にわたって中学生
がスポーツや文化芸術等
に継続して親しむ環境づ
くりが必要で、地域ぐる
みで子供たちの育成に取
り組んでいけたらと考え
ている。

学校部活動が担ってき
た目的や意義並びに活動
における責任や補償、指

町長

導者への活動実績に応じ
た適切な報酬等、諸課題
に対して移行検討協議会
の意見をもとに、生徒・
保護者の思いを踏まえな
がら取り組んで行きたい。

課題も多く、非常に難
題が山積しているように
感じている。少子化や働
き方改革などは私たち大
人がつくった問題である
と思っており、学校部活
動の地域移行については
解決策に向けて関係者で
十分議論していきたい。

他の質問

●「財政調整基金の適
正水準と今後の在り
方」に関しての今後の
財政運営について。



がんばっています、あさ中部活動



とよなが きいち
豊永 喜一 議員

井口川遊水機能を有する土地整備は

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

県では、令和2
年7月豪雨災害を

受けて策定した球磨川水系河川整備計画に基づく治水対策として、洪水の一部をとどめておくことができる河川沿いの土地を確保して遊水機能を保全し、洪水をゆっくりと流して沿川の浸水被害低減を図る遊水機能を有する土地の確保、保全を球磨川流域で計画されている。あさぎり町を流れる井口川左岸側に整備を計画している遊水機能を有する土地についての住民説明会が、地元で開催され計画の概要や今後のスケジュール案等が示された。町の考えは。

町長

県の球磨川水系河川整備計画については、緑の流域治水による球磨川流



井口川遊水地予定地

域における命と環境の両立、令和2年7月豪雨からの復旧と創造的復興持続可能な発展の実現を基本理念のもとに河川整備が進められている。井口川での遊水機能に有する土地の整備についても河川整備計画における球磨川上流域への対策の一つとして、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすた

めの対策に沿った取組として計画されているものと認識している。地元説明会では、地元地権者からの反対もなかったと聞いている。井口川沿いが浸水想定区域内になつており、浸水被害の抑制につながるものと思うので町としても、全面的に協力していく立場であると考えている。

問

百太郎溝鍋塚放水
路工事との関連は。

農林振興課長

遊水地は県で計画されており、鍋塚放水路は隣接しているが、直接的な関連は現時点ではない。しかし、流末である打ち出しについては、井口川であるため県との協議を要することになる。百太郎溝沿川に係る越水被害等軽減の為に実施している事業なので、いかにして下流域へ放水するかが重要と考えている。



百太郎溝鍋塚放水路

役場職員の就業環境の改善と 来庁者に対する庁舎内の環境の見直しは



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

こまつ
小松

えいち
英一 議員



問

職員が働きやすい
職場環境やコミュニ
ケーションの確保をどう
しているか。

町長

安全衛生委員会で、施
設面の改善や職員が同僚
や上司などとの人間関係
で心身の健康を害すること
がないように努めている。

問

来庁者への配慮
や職員の職場環境
対策として、BGMを
流すことは可能か。

総務課長

課長会議等で検討して
いきたい。



問

社会体育施設全
体の定期的なメン
テナンスは。

教育課長

予算の関係もあるが
できるだけ速やかに対応
したい。



教育課長

現在あさぎり中学校の
体育館に空調設備を整備
中である。

地区のリサイクル活動の
現状と施設の改修等につ
いて

問

リサイクル品の
収集場所や保管容
器の確保のために町の助
成はできないか。

町民課長

倉庫の改修や増築につ
いては、町の住民協働事
業を活用してもらいたい。



リサイクル収集場

問

廃棄物減量等
推進員の業務量
や内容が増大してきて
いる。活動報酬の引き
上げはできないか。

町民課長

推進員の方へのアン
ケート調査を通して庁内
で検討していきたい。

集落内道路や溝の環境整
備について

問

今後高齢化や空
き家の増加などで
地区の道路維持作業は続
けにくくなる。利用者の
側に立ち、道路の安全性
を確保するための見直し
をすべきではないか。

町長

人口減少や少子高齢化
の進行により、インフラの
維持管理は非常に影響を受
ける部分である。今後の対
応を庁内で協議したい。



雑草が繁茂している町道



上校区公民館の方向性は

みなごし
皆越 **てる子** 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

公有財産利活用方針での説明

は解体のみ。解体年次の記載はない。個別ごとの見直し内容では、令和5年解体またその後の改定では令和7年解体という表記もある。

令和3年3月個別施設の方向性の資料では、上校区公民館は「廃止解体します」とはつきり記載されている。令和5年度の一般質問の答弁では要望書をもとに話し合いを持つという事であったが、その後の経緯は。

町長

存続の要望書を提出さ

れた代表の方々と意見交換会を実施した際に、公共施設個別施設計画、耐震構造で改修した場合の経費を説明し、解体・改修費用2億4,500万円という高額経費を要するという事で、代表の方々も解体には同意を頂いた。



上校区公民館

問

既存施設の活用

や、複合化による

代替え施設についての検討については。

教育課長

教育課単独でいろいろ

進めていくことが非常に困難ではないかという感想を持ち、町長・副町長と協議をし、それぞれ関係する各課による検討委員会を設置して進めるよう町長より指示を受け8月に上校区公民館施設整備庁内検討委員会を立ち上げ、9月には第1回目の検討委員会を実施すよう計画している。

問

令和6年3月28

日公共施設マネジ

メント調査特別委員会により、上校区公民館の復元について、「趣旨採択」としたが、その後の検討は。

町長

今町が抱えている土地利用に関しては、昨年度解体した旧岡原庁舎・旧上庁舎・旧東庁舎・駅前用地・キャンプ場そういった複数の土地利用計画で総合的に考えていく必要があると感じている。

他の質問

●熱中症対策について。

人口減少に歯止め 又は緩やかに迎えるための対策は



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

かとう ひろし
加藤 弘 議員



問

人口減少に歯止めまたは緩やかに迎えるため、現在、どのような対策をしているか。

企画政策課長

4つの人口減少対策の方向性を定めている。1つ目が、出生率や健康寿命の向上。2つ目が町外転出の抑制やUIJターンによる社会動態の改善。3つ目が地域の魅力向上。4つ目が関係人口、交流人口の創出。

問

管内の高校生の卒業時の動向は。また、地元に残る対策は。

教育課長

管内就職者数は59名で7・45%、管外就職者数は206名で26・01%進学者数は524名で66・16%である。

町長

官民連携により、可能性といるものを今後探っていく。

問

今年成立した改正食糧農業農村基本法が、本町の農業に大きく与える影響は。

農林振興課長

①農産物生産費において、肥料や飼料など農業資材の高止まりの中にあっても、食料の価格形成において農業者等により食料の持続的な供給に要する合理的な費用が考慮されるようにしなければならぬことが規定されているが、詳細はこれから議論が進んでいく。
②食品のアクセスに関して、物流拠点の整備産地から消費地までの物流対策や担い手の育成・確保、担い手以外の農業者の位置づけも影響が大きい。

問

本町を支えている魅力ある農業を守っていくため、工夫や行政の支援なしではやっていけない。時代に沿った新規作物の導入、作物の転換、規模拡大、大型機械の導入、労力節減のための設備投資等避けて通れない。緊急の対策が必要では。

町長

これまでも実情に応じた助成を行って来た。今後も、必要となる支援については、実施していかなければならないと考えている。

高齢者世帯への生活支援について

問

近年の物価高で高齢者世帯の節約は「もう限界」という声を聴く。支援は。

町長

本年度の事業として低所得者世帯、非課税世帯に対する助成金を実施している。今後、国の政策等で交付金が発行されると是非実施したい。

他の質問

- リユウキンカの現状について。
- 空き家対策について。
- あさぎり町の財政について。
- スマート農業の推進について。





農業サービス事業体の 経営現況の把握と支援は

こみた かずゆき
小見田 和行 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問 農業、農村の維持に欠かすことが出来なくなつた受託や機械作業を請け負う農業サービス事業体も、近年の資材・機械の高騰で厳しい経営状況が続いている。担い手農家が作らない耕作困難な農地も、使命上耕作を続け農地を維持する公益性を担っておられる。それらの法人・個人への支援策は急務と思うが。

経営者の高齢化、担い手不足、そして生産力の向上維持、さらに農地を守るためには法人化や受託組織は不可欠であると思う。

町長

農業機械の導入や更新に多額の資金が必要なため、機械の台数を減らしたりして経

問

営の維持に努められている法人もある。それは受託面積の減少に継がるものと思う。農業サービス事業体の法人・個人の経営状況の把握をまずは実施すべきと思うが。

農林振興課長

経営の在り方等、見直しも必要ではないか。経営診断の費用についても支援したいと思う。まずは担当課へ状況を聞かせていただき、それを基に検討したい。



奨学金返還支援制度の取り組みについて

問

地域の未来を担う若者を支援するこの制度は42府県717町村（球磨郡内では錦町・球磨村）で実施されており奨学金の返還を自治体などが支援し、若者の地方離れの歯止めや都市部からのUIJターンの促進効果も期待できる。費用についても特別交付税措置があり町の財政的負担も軽く、子供たちの進学率を上げ、そして、ふるさとに帰って活躍できる様、この制度に

取り組めないか。

町長

就任当初から定住促進のため給付型奨学金の新設を言っているので、こういった制度も拡充していく必要があるかなと感じている。

教育長

奨学金を借りる事は借金を背負う事になるので、こういう制度は、一歩前に進むための後押しになるのではないかと感じている。



他の質問

●主権者教育の推進について。

昨年実施した トライアルサウンディングの結果は



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

はしもと まこと
橋本 誠 議員



問 昨年実施した駅前トライアルサウンディングの計画の進行状況は。

町長

官民連携のPPP（※1）、PFI（※2）の可能性調査を実施したがまだ見通しがつかない状況に至っている。今後の活用については、皆様との協議の上進めていきたい。

商工観光課長

PPP、PFIの可能性調査の中で実施したトライアルサウンディングについての応募はなかったが、11月から実行委員会によるマルシェを継続開催している。



あさぎりマルシェ

商工観光課長 行政をはじめ、議会地元業者、民間、住民も含めた知識を深めるための学習会がまず必要ではないかと考えている。アドバイザー派遣等を利用しながら、官民連携による事業がどういうものかの知識を深めることが先決ではないかと認識したところである。

問 駅周辺整備については今後、どういう形で進めるのか。



駅前ビアガーデン

問 駅前構想についての取り組みはもう20年くらいたっているが、町長は駅前をどうしたいのか教えてほしい。

町長

日常生活の利便性を図るとともに周辺の地域資源を生かすことで更なる発展を遂げるエリアとして位置づけていきたい。加えて駅前周辺の人口密度を上げることも必要だと感じている。

カーボンニュートラル達成に向けた取り組みについて

問

町有林を使ったJクレジット（※3）取り組み意向はあるのか。

農林振興課長

熊本県においてJクレジットの申請手続きなどに関する伴走型支援が行われており、今回これに手を挙げ、申請したいと考えている。

町長

Jクレジットについては、これからの取組になるが、これによって、省エネ設備の導入、再生エネルギーの活用によるランニングコストの低減等を図っていければと思っている。

※1 PPP

公民が連携して公共サービスの提供を行うスキーム

※2 PFI

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

※3 Jクレジット

経済産業省、環境省、農林水産省が運用する「J-クレジット制度」により認証された二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減量や吸収量である。排出権とも称される。



バリアフリーの現状は

ながい えいじ
永井 英治 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問

本町では、体に障がいがあること

で、外出時に困ったことや差別を感じたという人が少なからずおられるようだ。今後障がいを持つ人が心配なく外出できるようにするために、併せて差別をなくすためのバリアフリーへの町長の認識は。

町長

本町における、障がい者手帳を所持されている方の割合は8%である。障がい者御本人そして支援する家族の高齢化も進行していること等から障がい福祉のニーズは多様化しており、サービスの充実と環境整備を進めていく必要がある。今後とも、障がいの有無によって分け隔てられることのない地域共生社会の実現に向けて取り組んでいきたい。

問

災害時の避難行動要支援者（障がい者・高齢者・乳幼児・妊婦等）への支援策は。

総務課長

平時から、避難行動要支援者名簿により対象者の把握を行っているが災害発生時の要支援者の避難については、地域における共助が大事だと考える。そのためには日頃から地域の中で顔の見える関係づくりが大事になってくるので、支え合いマップや地区の防災計画書の作成が有効な手段になってくると考える。

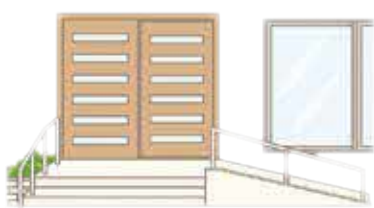
問

公共施設のバリアフリーの現状は。

財政課長

施設が改修される時に手すりやスロープを設置またはトイレの洋式化などをを行っているが、一部

の公共施設では段差や和式便器などが残るなど全ての公共施設のバリアフリー化には至っていない状況である。今後、公共施設の維持補修・更新などに当たっては、高齢者や障がいを持った方などに配慮し、段差や狭い通路等を解消することで誰もが円滑に利用できる建築物の整備を行ってきたい。



問

障がい者への理解を深めるためには、学校での福祉教育が重要になると思うが、その現状は。

教育長

小・中学校では、社会福祉協議会や鐘ヶ丘ホーム、または役場の関係課との連携協力による高齢者疑似体験、視覚障がい疑似体験など、福祉体験や認知症サポーター研修また高齢者福祉施設や保育園等での交流福祉体験や中学校における職場体験など実際に体験を通しての学習を行っている。子供たちは高齢者や障がい者の方々への理解を深め、思いやりとともに支え合い、共に生活していくことの大切さを学んでいる。

他の質問

●農業政策について。

投票率を上げるため 車での移動投票の取り組みは



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

みぞぐち
溝口

みねお
峰男 議員



問 町長・議員選挙の投票率は、だんだん減少してきているが数字を見てどのような認識か。

町長

年代別にみても若い世代の投票率が落ちていく。若い世代の方へ政治への関心を持っていただく取り組みが必要と感じる。

選挙管理委員長

合併から20年経過し旧町村の垣根がなくなりまた、議員定数が減少し地元の議員が少なくなり身近であった選挙が身近でなくなっているような感じがする。

問

車を活用し、移動しての期日前投票を行っている所もあるが導入する考えはないか。

選挙管理委員長

各関係機関の協力を得ながら検討していきたい。

問

期日前投票の開始・終了時間の延長また、ポツポツ1階での期日前投票は利便性が高まり投票率を上げるための策として、検討に値すると思うが。

選挙管理委員長

事務局と相談しながら検討していきたい。

問

高齢者や身体障がい者のためにデマンドタクシーの活用と利用料金の免除はできないか。

町長

デマンド交通を運営している会社とも協議し検討したい。

問

デジタル社会を踏まえ指定された投票場だけでなく、どこでも投票ができる共通投票場の設置はできないか。

総務課長

まさにその通りでして今後の課題というふうにさせていただきたい。

五條市における
車移動期日前投票所
の取り組み



「子育てするには、あさぎり町」に逆行していないか

問

昨年度まで子供県大会等の出場経費を町が3分の2を補助していたが、今年から減額された。町長は「子育てするには、あさぎり町」と言われているが逆行しているのではないか。

町長

再度、支援金交付要綱の見直しを検討させていただきたい。

上校区公民館（旧議場）存続の代替案は、いつ提示するのか

問

上校区公民館（旧議場）存続の要望について、代替案を提示することになっているが、いつ提示されるのか。

町長

未定です。

問

雨漏りする上校区公民館（旧議場）を早急に解体し、私が提案している内容も含めて、新たな構想を年度内には説明いただきたい。

町長

代替案の提示後に解体する計画であったが、現状を見ると解体を急ぐのも一つの案と思う。



文化財の国指定後の対応は

かがやま みつこ
加賀山 瑞津子 議員

2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。



問 勝福寺毘沙門天
像は2015年に
国指定重要文化財となつ
た。しかし、説明看板は
県指定表記のままであ
り、ホームページの更新
も行われていない。国指
定の文化財の価値を正し
く伝える為の広報や看板
更新に関する今後の取り
組みは。

町長 国指定を受けた後の町
としての関わりが足らな
かった点は非常に反省す
るところ。大変貴重な歴
史遺産であり後世にしつ
かり継承すべきものだ
と考えている。

問 町内の文化財の
数は。

教育課長

定。
国県町で145の指

問 説明看板につい
ては劣化が著しい
ものがある。町内全域の
計画的な対応が必要で
は。

教育課長

毘沙門堂、内山観音堂
阿蘇釈迦堂については
本年度に内容修正・建て
替えを予定している。



老朽化の激しい須恵釈迦堂説明板

問 145も指定が
あるのだから1年
に2つ3つではなく、早
急に体制を整えて頂きた
い。今後データの3D化
VR映像の活用、SNS
での発信、QRコードの
活用等、今後取り入れて
いく事はできないか。

デジタル政策審議監

文化財のデータ保存の
必要性は世界的にも注目さ
れていると認識している。
360度写真等、今出来る
方法で文化財の性質に合わ
せて検討していく事が有
用。ホームページは来年度
のリニューアルに向けて今
作業を進めている。

問 文化財講座の開
催等に併せて、文
化財をより身近なもの
とする一つとして絵や書道
等のコンクールの計画は
できないか。

教育長

学校においては、毎年
文化財めぐりを実施して
いる。絵や書道で町の魅
力を発信するのは素晴ら
しい事。学校長と学校と
協議しながら検討してみ
たい。



深田荒茂勝福寺毘沙門堂

その他の質問

●広域的な第3の路線と
して、五木宮原線の整備
への考えは。

学力、いじめの認知件数、不登校生徒数 特別支援学級児童生徒数の現在の状況は



2次元コードで各議員の
一般質問の動画がご覧になれます。

いわもと
岩本

やすのり
恭典 議員



問

学力は、小学校から中学校にかけて上昇しているという事だが。

教育長

本町の学力は全国や県平均と同等で、特に2024年4月の全国学力調査では国語と算数・数学が県平均を上回った。

問

ICT教育、IoT機器の進化により語彙力やコミュニケーション能力、デバイスカッション能力、デバイス等が低下する懸念があるが。

教育長

小学1年生からタブレットを導入し、これにより視覚的理解が深ま

問

潜在的ないじめを把握することが重要で、防止には道徳教育、人権教育の充実が必要と思うが。

教育長

道徳教育や人権教育も重視し、学校全体でいじめ撲滅や人権意識の向上に取り組んでいる。

問

不登校が増加している原因は。

教育長

原因の特定が難しく無気力、いじめ、家庭環境、学力不振などが考えられるが、最も多いのは無気力で、主要な要因として上昇している。

問

ファミリーカウンセリングはあるか。

教育長

球磨教育事務所のカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携や、家庭教育支援員を配置して問題解決に取り組んでいる。

問

特別支援学級の生徒数増加で、不登校やいじめ、ストレスなどが増加の要因となる問題はないか。

教育長

現状では特別支援学級での生活や周囲の要因が直接的な原因となっている例は確認されていない。



問

いじめの件数が増加しているが。

教育長

認知方法として中学校では毎月アンケート、小学校では毎学期アンケートや教育相談を実施。保護者や教職員の見取りを通じ、子供の表情や態度に異変があれば相談を行い、問題を掘り下げて確認する方法をとっている。



総務建設経済常任委員会

○7月1日(月)

委員会付託案件・陳情書について

石田橋の架け替え工事着手に関する陳情書が、柳別府区長・塚脇区長・百太郎溝土地改良区理事長より提出。又陳情の趣旨・理由または説明を記載し、陳情賛同者名簿を添えての提出と共に、柳別府・塚脇の区総会議事録も添付済である。

以上のことから、建設課より石田橋の状況について詳細に説明を受けた。

厚生文教常任委員会

○7月22日(月)

教育長及び教育委員との意見交換会を実施。

(1) 教育方針と目標について

(2) 生徒の福祉と安全について

① いじめや学校内のトラブル

② 不登校児童生徒への対応について

(3) 特別支援教育の現状と今後の方針と児童生徒への対応策について

今回初めての取り組みとして、意見交換会を計画したが教育委員の皆さんの熱心な意見を伺う事が出来た。

○8月26日(月)

所管事務調査15件

○8月22日(木)
所管事務調査18件

○9月2日(月)

所管事務調査1件

選挙管理員報酬等の誤払いについて

総務課長より詳細に説明を受け、委員会として、全庁、金額の多少にかかわらず更なる入念なチェック体制の強化に努めていた。また、申し入れをした。

○9月19日(木)

委員会付託案件・現地調査

採択した。

■町民課

◆ プラスチックごみ回収容器購入(折り畳み容器・トン袋)については、回収時に町民の作業が煩雑にならない様にとの意見があった。

■健康推進課

◆ アピアランスケア推進事業補助金(医療用かつら・乳房補正具等)県内では10自治体ほど取り組みがあるが、今回球磨人吉ではあさぎり町が初めて取り組むこととなった。

◆ マイナナンバーカードと保険証が一体となるマイナ保険証については、国民健康保険証や後期高齢者証がなくなることに、町民への周知を徹底するよう意見があった。



プラスチックごみ回収



石田橋視察の様子

人吉球磨広域行政組合議会

○8月21日（水）

令和6年度一般会計補正予算歳入歳出それぞれ1億1,891万7千円追加し予算の総額を17億4,722万7千円とされた。令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について、会計管理者・代表監査委員から決算審査意見書の報告を受けた後、委員8名とする「令和5年度決算特別委員会」を設置し、付託することに決定された。

その後、発議第1号新ごみ処理施設建設に関する調査特別委員会に関する決議では提出者の提案理由の説明を聞き、質疑採決を行い原案のとおり可決され委員長に山口和幸議員が、互選された。



令和6年9月26～27日
人吉球磨広域行政組合視察研修
「北薩広域行政事務組合」

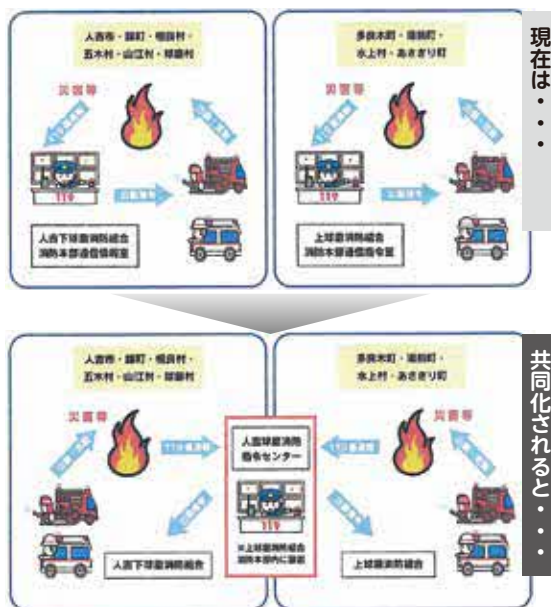
上球磨消防組合議会報告

○8月20日（火）

令和6年第2回臨時会が、会期1日で開催。議案2件が上程され、全会一致で原案可決された。

今回の議案で人吉球磨消防指令センターの設立（令和7年4月稼働予定）に向けた共同運用及び業務共同化に向けた協議会の設置が必要で、十市町村が9月定例会において、同文議決が可決された。

人吉・球磨地域の消防指令業務



◆ 令和6年度町村議会広報研修報告 ◆

令和6年9月25日（水）町村議会広報研修会が東京都港区虎ノ門のニッショーホールにて開催された。

- ① 読まれる議会広報紙の作り方 中本正樹氏
 - ・読む人の心の変化を設計している。
 - ・読む人側の視点で作っている。
- ② パッと伝わる広報紙に！やってはいけないデザイン講座 平本久美子氏
 - ・デザインする前に！必ず決めること。
 - ・パッと目にとまるため目立つ！レイアウトの鉄則。
 - ・これだけで見違える！3つのデザインルール。
- ③ 読まれない議会だよりに出す意味なし 鈴木詠子氏
 - ・聴く・動く寄居町議会の挑戦。
 - ・基本姿勢、町民参加、政策サイクル、優先順位、言葉で伝える、写真で伝える。



研修の中で具体的なアドバイスを受け、各委員が共用し、住民目線で「伝える」から「伝わる」より良い広報紙づくりにしていきたいと感じた。

（橋本 誠）

議員活動報告

月 日	行 事 名	参 加 者
8 月	1 日 議員懇談会・全員協議会、第 4 回会議 公共施設マネジメント調査特別委員会	全員
	9 日 定例郡議長会（球磨地域振興局）	議長
	13 日 議会運営委員会	議会運営委員 正副議長
	16 日 全員協議会	全員
	22 日 総務建設経済常任委員会	総務建設経済常任委員
	26 日 厚生文教常任委員会	厚生文教常任委員 議長
	27 日 令和 6 年度町村議会正副議長研修会（オンライン）	正副議長
9 月	2 日 議員懇談会・全員協議会 総務建設経済常任委員会	全員 総務建設経済常任委員
	3 日 議会運営委員会	議会運営委員 正副議長
	6 日～20 日 (12.17.18.19 日休会) 9 月定例会（第 5 回）開会	全員
	6 日 全員協議会	全員
	12 日 第 66 回熊本日日新聞社金婚夫婦表彰並びにあさぎり町金婚夫婦表彰式 厚生文教常任委員会	議長 厚生文教常任委員
	19 日 議会運営委員会、全員協議会、公共施設マネジメント調査特別委員会 広報調査特別委員会、各常任委員会	全員
	20 日 全員協議会	全員
	25 日～26 日 令和 6 年度町村議会広報研修会（東京都：ニッショーホール）	広報調査特別委員 議長
	27 日 第 73 回球磨畜産共進会（錦町） 定例郡議長会（球磨地域振興局）	議長他 議長
10 月	1 日 厚生文教常任委員会 議員懇談会・全員協議会、あさぎり町給食センター視察	厚生文教常任委員 全員
	3 日 椎葉村・西米良村議会と上球磨正副議長会との交流会（西米良村）	正副議長
	5 日 笑祭	議長
	7 日 令和 6 年度町村議会議員意見交換会（錦町）	全員
	9 日 広報調査特別委員会 令和 6 年度第 1 回熊本県町村議会議員研修会（オンライン）	広報調査特別委員 全員
	15 日 全員協議会、第 6 回会議 広報調査特別委員会	全員 広報調査特別委員
	24 日 令和 6 年度葉たばこ販売視察（合志市）	正副議長 総務建設経済正副委員長
	26 日～27 日 関東ふるさと会（東京都：ルポール麹町）	議長、議員 2 名
	28 日 広報調査特別委員会 百太郎水戸神社秋季感謝祭（多良木町）	広報調査正副委員長 議長
	31 日 厚生文教常任委員会	厚生文教常任委員 議長



聞かせて

町民の声

このコーナーは町民の皆さまの日頃の活動状況や議会・町に関する要望等を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いします。

みんなで何なっとしゅうか

須恵（覚井）^{たかた} 高田 ^{まゆみ} 真由美さん

人吉市からあさぎり町（当時須恵村）に移り住み36年が過ぎました。自宅と職場を往復していた頃、「あーら、久しぶりー！！」「元気しとったー？」ご近所でありながらこんな会話を交わしていましたが、仕事を辞めてから地域がぐっと身近になりました。

現在、覚井ときめきサロンや地域ふれあいサポート「覚井何なっとしゅう会」のお世話役をしています。サロンでは百歳体操やクイズ、歌唱やもの作りなどを行ったり、たまには楽器や舞踊を鑑賞したりと、みなさんが楽しく参加できるように考えています。



オカリナ演奏鑑賞（サロン）

「覚井何なっとしゅう会」では、防災マップやお年寄りへのサポート体制作りを行いました。毎月の寄り合いでは、この覚井班で気になることなどを出し合って解決に向け話し合います。先日は危機管理監をお招きしミニ講話をしていただきました。そのお話の中で「防災マップやサポート体制は大変重要であるが、それ以前に大事なことは地域やご近所同士のつながりである。」と言われた言葉が実に印象的でした。

社会福祉協議会の皆さんには、いつもいつもアドバイスをいただき大変お世話になっています。先日は「シニアの通い場」活動募集があり早速応募しました。私たちの中では10年以上も前から出ていた話です。それが実現に向かおうとしていることを嬉しく思います。囲碁将棋、健康麻雀、楽器演奏、野外スポーツ、何ができるとワクワクします。（まだ審査に通っていませんけど）

歳を重ねても心配ごとや悩みが無くなることはありません。でも地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力し、助け合い、楽しく健やかに過ごせるなら、歳をとるのも悪くないと考えているこの頃です。

編集後記

あさぎり町議会では、「地方自治の未来を創る調査特別委員会」を設置し、議員のなり手不足や議会の活性化・透明化を議論しています。解決策として、議会活動をインターネットでライブ配信し、議事録の公開を進めることで町民の理解を深め、また、議員報酬や勤務条件の改善、若者や女性が参加しやすい環境整備が必要だと考えます。さらに、町民との意見交換会やワークショップを定期的に開催し、地域課題への関心を高め、多様な人材が活躍できる環境づくりを促進したいと考えています。

（岩本 恭典）

編集発行者

議長 小見田 和行

広報調査特別委員会

委員長 橋本 誠

副委員長 岩本 恭典

委員 小松 英一

加藤 弘

小谷 節雄

皆越 てる子



※本紙内容の無断複写およびSNS等への投稿、掲載は一切禁止します。
★お願い★「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。